

渋谷から発信

一緒に知ろう！ともに考えよう！
AYA 世代のがんのこと
開催報告書



認定 NPO 法人希望の会

【総括】

2021年以来、渋谷を拠点として開催してきた AYA 世代のがん啓発事業は本年、初、会場開催を含めたハイブリッド開催として行った。

2023年は忠犬ハチ公の生誕100年でもある。

30年間、がんでの死亡率が全国でワーストである秋田のがん啓発に繋がることを願い渋谷ではヒカリエホール B、秋田では秋田県総合保健センターを会場とし、zoom ウェビナーを使用して開催した。

特に、渋谷区、大館市、東京都、秋田県、厚生労働省のご後援をいただき、開催したことは現在、閣議決定を待っている第4期がん対策推進基本計画の全体目標である【誰一人取り残さない】対策へのメッセージとなったと実感している。

発信内容の充実に関心が集まり、イベント開催前には、読売新聞、毎日新聞で内容を取り上げていただき、開催当日には NHK が取材に入り、報道されたことにも、開催の意義を感じている。

※NHK ニュース

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230312/k10014005681000.html?fbclid=IwAR2Y2ANTRimmqvxFUb1Evmx8l4f1uEadklGfiKE5HSMtvjMUSzIt0eZDf-E>

特に介護保険の対象外である AYA 世代の在宅療養支援に関しては、自治体で実施しているところと実施していないところに格差が生じている。

東京都では、江戸川区、世田谷区のみが実施となっており、居住地の違いでの格差はなんとしても解消したい課題であるため、NHK ニュースで取り上げられたことを、支援の実装につなげていきたい。

【参加数】

渋谷ヒカリエホール B のべ200～300名

秋田県総合保健センター 50名

オンライン参加 250名 ※各セッションごとの視聴数は、常時100～150名

【来賓】

渋谷区長谷部区長が来場。舞台上で挨拶。

オンラインでつながっている秋田へもメッセージを伝えたことは大きな力となった。



SHIBUYA



若者の街 | 渋谷から発信!
一緒に知ろう! 共に考えよう!

AYA世代のがんのこと

2023.3.11 SAT 11:00~19:00 渋谷ヒカリエ9F / ヒカリエホール ホールB

10:50~ 開会挨拶・オープニング

11:00~ 国際女性デー企画・婦人科がん(50分)

モデレーター: 片木美穂 【渋谷区観光協会 Women's Wellness Action from Shibuya 主催】



【セッション登壇者】宮城悦子(講師) / 藤倉美穂 / 橋本ゆき / 小池ひろよ

11:50~ 休憩

12:00~ AYAがん情報を全国に届けるために
必要なことを考えよう(50分)

モデレーター: 多田雄真 / 守田亮(秋田県産より)



【セッション登壇者】若尾文彦(講師) / 原野部武志 / 樋口麻衣子 / 前田留里 / 日置三紀

12:50~ 休憩

13:00~ 医薬品を超えて、生活・人生をサポートする
取り組みの可能性(50分)

モデレーター: 市川尚(講師) 【アステラス製薬株式会社 共催】



【セッション登壇者】音島謙一郎 / 長谷川一男 / 藤田厚高(オンライン) / 二宮みゆき

13:50~ 休憩

14:00~ 一緒に知ろう、考えよう「がん教育」(50分)

モデレーター: 轟浩美 【武田薬品工業株式会社 共催】



【セッション登壇者】渡邊清高(講師) / 榎井なおみ / 村本高史 / 山下公輔 / 飯文祥

14:50~ 休憩

15:00~ 未来の治療を一緒に考えよう

～臨床試験って何?
どうやって情報にアクセスするの?～(50分)

モデレーター: 榎井なおみ 【中外製薬株式会社 共催】



【セッション登壇者】中村健一(講師) / 天野俊介 / 馬上祐子(依頼中) / 若尾文彦

15:50~ 休憩

16:00~ がん治療だけではない。
生きる日々を支える医療の必要性(晚期障害)(50分)

モデレーター: 岸田徹 【アフラック生命保険株式会社 共催】



【セッション登壇者】多和田由津子(講師) / 多田雄真 / 坪内(水橋)朱音 / 渡邊知雄

16:50~ 休憩

17:00~ 在宅医療～AYA世代の視点から～(50分)

モデレーター: 轟浩美 【経売光と愛の事業団 助成セッション】



【セッション登壇者】大谷貴子(講師) / 清水千佳子 / 廣橋暁 / 浜本康夫

17:50~ 休憩

18:00~ 人生会議は暮らしの中にある
～社会のつながりから考える～(50分)

モデレーター: 秋月伸哉 【美英記念財団 助成セッション】



【セッション登壇者】西智弘(講師) / 音島謙一郎 / 樋口麻衣子 / 前田留里 / 津村明美

18:50~ クロージング モデレーター: 轟浩美

がんノートスペシャル モデレーター: 岸田徹
(ヒカリエホールBホワイエにて開催)

主催: 認定NPO法人 希望の会 共催: がんネットワーク東京 / グリーンルーベ
セッション共催: アステラス製薬株式会社 / アフラック生命保険株式会社 / 中外製薬株式会社 / 武田薬品工業株式会社 (助成金) 社会福祉法人経売光と愛の事業団 / 公益財団法人美英記念財団
協賛: アストラゼネカ株式会社 / 大塚薬品工業株式会社 / ファイザー株式会社 / 樋口宗孝がん研究基金 / ノバルティス ファーマ株式会社
後援: AYAweek2023 / 厚生労働省 / 東京都 / 秋田県 / 渋谷区 / 大塚市 / 渋谷区観光協会 / 秋田県総合保健事業団 / 一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究会 / 一般社団法人全国がん患者連合会
運営事務局: 株式会社ZINE / CancerWith 運営協力: 一般社団法人ビーベック ※プログラムは予告なく変更になる場合があります。

AYA GENERATION 2023WEEK TOKYO SHIBUYA

AYA Generation Week 2023

若者の街 渋谷から発信! 一緒に知ろう!共に考えよう!

AYA世代の がん のこと

2023.03.11 11:00~19:00

会場：秋田県総合保健センター2F 大会議室

渋谷ヒカリエ とオンラインで結び、AYA世代のがんについて様々なセッションを会場で視聴できます。

プログラムは裏面をご覧ください。

参加費：**無料** 出入り自由。好きなセッションのみの

参加も可能。様々な展示・体験ブースあります。



会場地図



AYA世代ってなんだろう?

Adolescent&Young Adult (思春期・若年成人)のことをいい、15歳から39歳の患者さんがあてはまります。AYA世代の患者さんは**学業、就職、結婚、子育て**など様々なライフイベントに直面します。一人一人が自分らしく生きられるサポートが必要です。

展示・体験ブース

乳がん触診モデル

セルフケアチェックにも役立つ乳がんモデルの触診体験。あけぼの秋田の方々が説明してくれます。

健口チェック

滑舌チェックを行い、お口の健康から体の健康を考えます。秋田県健康づくり推進課

患者会

患者さん同士で支えあう、同じ立場だから話せることもあります。秋田県がん患者連絡協議会きぼうの虹

ハンドマッサージ

治療中のお肌の悩み相談など無料のハンドマッサージを受けられます。株式会社POLA

アピアランス相談

治療中の脱毛などの悩みに対してウィッグなどの紹介をしてくれます。

保険の相談

保険っていつから加入すれば? どんな種類があるんだろう? 専門家による説明ブース

お問い合わせ

秋田厚生医療センター 呼吸器内科 守田亮

TEL : 018-880-3000 e-mail : rfljakita@gmail.com

主催：認定NPO法人 希望の会

共催：がんネットワーク東京 グリーンルーベ

セッション共催：アステラス製薬株式会社・アフラック生命保険会社・中外製薬株式会社・武田薬品工業株式会社（助成金）社会福祉法人読売光と愛の事業団・

公益財団法人勇美記念財団

協賛：アストラゼネカ株式会社・大鵬薬品工業株式会社・ファイザー株式会社

後援：AYAweek2023、厚生労働省、東京都、秋田県、渋谷区、大館市、渋谷区観光協会、秋田県総合保健事業団、一般社団法人AYAがんの医療と支援の在り方研究会

一般社団法人全国がん患者連合会、一般社団法人ビーベック

【寄せられたご意見】

*希望がもてた

*経験者の生の声、貴重です。ありがとうございます。

お世話になります。午前中のセッションは、副作用で体調が整わずに参加できず申し訳ありません。アーカイブがもしあれば見逃したセッションも拝聴させていただきたい思いです。ありがとうございました。

*時間の関係で最後は見れませんが大変有意義なセッションが多くて勉強になりました
企画されました関係者の皆様大変ご苦労様でした

*患者さん、医療者の方双方の熱い気持ちが聞けて良かったです。

*全てのセッションが、がんであってもなくても、共に「生きる」を考える時間でした。私に何ができるかと言えば、大したことは出来ないかもしれませんが、AYA 世代の患者の方が、孤独だと思いがないように、心を開いて手を伸ばし繋がりたいと思いました。参加できてよかったです。ありがとうございました。

*AYA 世代を少し超えてから告知受けたものにとっても治療の受け方、晩期障害との付き合い方、来るべき最期に向けた準備の仕方などについて考える貴重な機会となりました。素敵な企画をありがとうございます。来年もぜひ参加させて頂きたいです！

*様々な立場からの多くのご意見をうかがえてよかったです。ありがとうございました。

*大変なイベント企画お疲れ様です。陰ながらいつも応援させて頂いております。これからも頑張ってください。

*身近に AYA がんを感じる事ができた。在宅医療の双子のお母さんの話は涙なしには聞けませんでした。

*福岡の学会に日帰りで参加しながら、途切れ途切れに視聴させていただきました。素晴らしい会だったと思います。お疲れ様でした。お声掛けいただきながら、登壇できなかつたのが残念ですが、またの機会があればよろしく願います。AYA week も盛り上がりました。

*時間配分（ボリューム）、予定通りの進行素晴らしかったです。何より、内容がコンパクトにまとめられていてとても良かったです。ご登壇者も AYA 世代が多く、エネルギーをいただきました。企画・準備大変だったと思います、ありがとうございました！

*いろいろなことを考えさせられるイベントでした。これだけの準備をするのはいへんだったと思いますが多くの人の力や想いが結集した結果だと強く感じました。ありがとうございました！

*AYA の視点からの意見、課題、発信、色々と伺え学ぶ機会をありがとうございました。

*大変勉強になりました。聞き逃した事もあるので、後日配信予定があれば嬉しいです。又、東日本大震災から12年、黙祷していただいて本当にありがとうございました。皆さんの優しさに胸がいっぱいになりました。

*私自身はAYA 世代ではないので本日は大変、勉強になりました。聴講したいセッションが聞けなかったのですが、オンデマンド配信があるとのこと。後日、ゆっくり試聴し学びに繋がりたいと楽しみにしています。視聴機会をありがとうございました。

*AYA 世代に乳がんに罹患した者です。もう術後10年になり、自分はAYA は卒業したからともう関係ない、老害になってはいけないかのように感じてしまうこともあり、支援から少し遠ざかっていました。今回、AYA をテーマにされつつも、世代問わず、全世代共通で、世の中全体で考えて一緒に取り組んでいくことがまだまだあると気付かされました。このようなすばらしいご企画、参加できてよかったです。轟さん、ご企画ありがとうございました。

*とても良い企画だったと思います。お疲れ様でした。これが始まりです。

*とても内容の濃い一日でした。数回に分けてやる方法もあるかと思いますが、一日で集中して参加できると参加しやすい一面もあります。

*準備が大変だったと思います。本当にありがとうございました。

*AYA 世代ならではの悩みなどを知ることができ、また終結に向けた心構えも勉強することができました。

*とても良い内容でしたので、障害者の方にも見ていただけるよう、字幕か手話通訳を付けたり、副音声でスライドを説明したものの動画配信もしてもらえると良いと思いました。"

*AYA がんはまだ認知度が低いとのことですが、時間をかけて少しずつ浸透していけば良いと思います。私もその一員としてお力になれるよう努力したいと思います。

*ところどころの参加でしたが、どのセッションも、自分事として、医療者として学ぶことが多かったです。オープニングリマークスそしてクロージングの轟さんのお話を聞き、轟さんの「やろう！」という想いが多くの方にエネルギーを与えてくださったと想い、ただただ感謝です。轟さんには少し休憩いた

だき、しかし、来年は秋田だけでなく、ぜひ各地域（私のいる宮城県も！）と中継いただき、また開催いただけるとういなーとお願いいたします！！！！

*守田先生のおっしゃる、1年2年、、、継続することで変化していき、今がんばっていることが当たり前になるように、自分も日々の業務をコツコツ続けていこうと思えました、ありがとうございました。（東日本大震災の12年目の慰霊と同日の開催で、いろいろ思うことがありました）

*これだけのがんに関する情報を学べる機会にはなかったと思います。是非、時間がなく全てを聞けなかった人やこのイベントを知らなかった人にアーカイブで広く聴講して欲しいと思いました。素晴らしい企画をありがとうございました。

*一日通してのウェビナーのすべてを聞くのは難しいので、聞きたいものを選びたかったですが、タイトルだけでは内容が予測できませんでした。登壇者全員のプロフィールと、ウェビナー概要、テーマとなるキーワードをいくつか紹介する情報も事前にいただきたかったです。

*現在、乳がんで抗がん剤治療中です。幼い子どもが2人おり、助けを求められる親、親族もいません。治療費のこと、体調が悪い時の毎日の家事育児の継続、もし共働きの私が死ぬとなったら将来の経済的なこと、子どもたちとのこれまでの当たり前の日常が突然断絶し、子どもたちが当たり前だと思っていた母親でいられなくなったときにどうするか、悩みは尽きませんが、患者会や病院で話を聞いても、ほとんどの患者の世代がもっと上の世代で、子育てが終わってから罹患した人ばかりのため、あまり聞きたい話できません。

今日は、AYA世代向けとのことでしたので、何かヒントになる話が聞けるかなと思いましたが、時間の都合が合って聞くことができたウェビナーの回では、あまりそのような患者の具体的な悩みが話題になることはありませんでしたので、残念でした。

もし、またこのような会を開催されることがあれば、ぜひ当事者の悩みを共有できる場を作っていただければと思います。

*AYA世代のガン患者はなかなか相互に出会う機会も、特に地方では多くはないと思いますので、共感できる経験の話聞くだけでも、気持ちが前向きになれると思います。

*6歳の双子を抱える娘の乳がんに家族としての向き合い方に悩んでおりましたが、励まされた思いです。イベントに参加できてよかったです。有難うございました。

*内容が少し難しかったが人生会議をしない選択をする人もいることを知りました

*みんながそれぞれにできるところから始めよう、と思える企画でした。

*素晴らしい。

*AYA 世代に向けた大きなイベントの開催をありがとうございます。お仕事で途中参加でしたが、とても参考になるセッションでした。治療当時困ったことや、現在進行形で悩んでいることが言語化され、それが医療従事者の方と一緒に『考える』ことができる時間は貴重だと思います。またこのような会があったら参加したいです。今回は現地に行けませんでした。次回は足を運んでみたいと思いました。企画、準備をしてくれた皆さま、ほんとうにありがとうございました。

*貴重な会をありがとうございました。息の長い取り組みにつながるとよいと思います。一緒に学ぶ・考える・話し合うことが大切だと思いました。

*長丁場のセミナーありがとうございました。セッションが変わる毎に休憩を入れてくださっている事に配慮いただきありがとうございます。内容が重いテーマですので回数を分けて短い時間で開催していただきたいと思いました

*もうなす術も無くなった後の在宅医療は、自分に当てはめて悲しくなった。病院で最期迎えるのか在宅で最期を迎えるのか考えさせられた。

"

*申し訳ないですが、AYA 癌患者さん及びその家族の苦勞話と対応する行政や医療機関の問題点が明るみに出ただけで、何故若い世代の癌が発生する様になったのか？の原因究明が疎かであり、どうしたら若い世代の癌が防げるのかを最も聞きたかったのですが殆ど出て来ずに残念でした。人間には元々生体維持機能（免疫能力も含む）が備わっています。医療用医薬品の歴史は、この生体維持能力との戦いの歴史だったのです。所詮薬は人間にとって「異物」です。よって肝臓や腎臓によって、殆ど代謝・排泄されるのです。結論としては薬物に頼らない食事療法戦略を打ち立てるべきです。日頃の食事内容さえ改善できれば、若い世代の癌発生等少なくなる筈です。日本も 30 年前までは 50 人に 1 人の癌発生率だったのが、今では 2 人に一人の発生率迄成り下がってしまいました。何が原因でその様になったのかを徹底的に追求すべきではないでしょうか？それを追求し続ければ原因が明らかとなって来るでしょう？日本国民全体が健康寿命で長生き出来る様にしていく事こそが、医療費抑制にもなるし、国民全体が豊かになって行くと確信しております。

*1 時間ごとのセッションで短い時間の中で深い話が聞けました。皆さんの準備の凄さにびっくりしました。

*どのセッションも参加者がみなさん自然体で自分の言葉でお話されていたのが印象的でした。学会などではこうはならず結果的に難解な印象になってしまいます。医療者こそこういったセミナーに積極的に参加すべきだと思いました。貴重な機会をありがとうございました。

*情報収集の場として役立ちました。

*体験者の生の声は心に響きました。"

*震災の日と重なってしまっていたのが、残念でした。

*「在宅医療～AYA世代の視点から～」は、胸につまされる内容でした。

友人のお嬢様に最近「トリプルネガティブ乳がん」が見つかり、2歳の双子さんがおられ余りに酷似しています。イベントの中で有用な情報が幾つもありました。メモを取ったのですが、取り損ねたところもあると思います。

是非、資料公開をして頂ければ、有難いです。他のセッションもお願い出来たら、更にありがたいです。

*私は動脈硬化症を持病としています。この疾患も晩期障害、長期フォローアップの考えが必須と、気付かされました。"

*皆様の本気度が伝わってきたイベントでした、ありがとうございます。

*こんなにも大きな規模のイベントと登壇者を集め開催することは大変だったかと思いますが、大変勉強になりました。ありがとうございました。

*もし、今後もこのような活動を続けてくださるとしたら

例えば秋田のブースの様子をzoomで配信して下さったり、インタビューを入れたり、もう少し企業や自治体関係者もきてくださるとより社会全体で考えるきっかけになるのではないかと思います。

*久しぶりの対面開催でもあり関係いろいろな方とお会いできたこと、リアルに行くことで熱量を感じることができとても充実した時間となりました。ありがとうございました。"

*登壇者が多種多彩で、とても楽しいセッションでした。参加者がもっともっと広めていけるといい、重要なテーマだと思います。

*主催の皆様

長時間大変お疲れ様でございます。"

活動と同時間だったので最初しか参加できなかったのが残念でした。

*今後も今後も継続して行ってほしい企画でした。

*今後も、イベント情報を頂けると光栄です。

*轟さまはじめ多くのOpinion Leaderの方々から多くの視点で学びがありました。医薬品開発業界に所属していますが、開発するうえでの患者さん達の状況や課題を把握すること、自分も患者になる可能性があることを含めて学びがありました。できることから活動をしていきます。

*オンラインで視聴しました。自宅で視聴できたので良かったです。

*会場に、AYA 世代の方々が、どれくらい来訪したか気になりました！

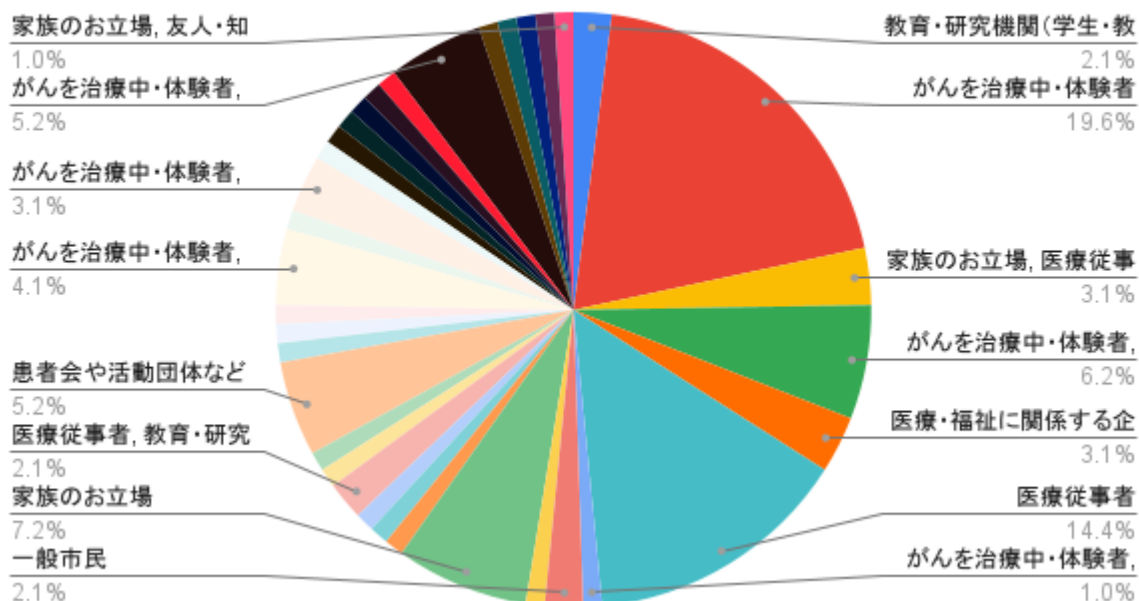
*イベント内に、東日本大震災の黙祷時間があり良かったです。

*1人でも多くの方に AYA 世代に関心をもっていただければ嬉しいです。"

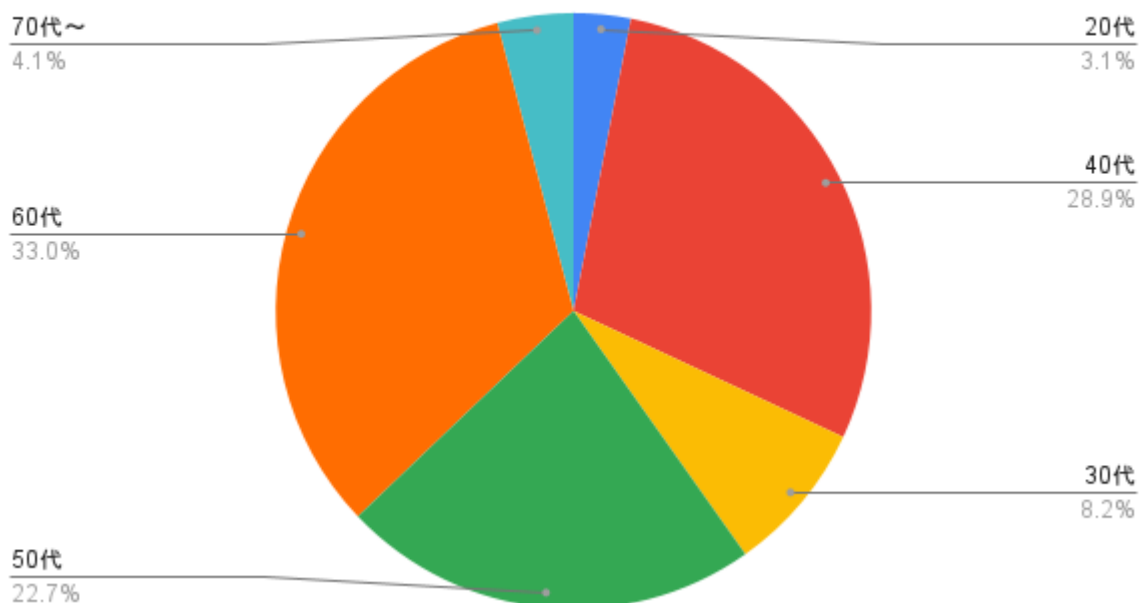
*今後も続けてほしい

*どのセッションもゲストが豪華で、お話を聞いていてとても勉強になりました。来年も楽しみにしています。

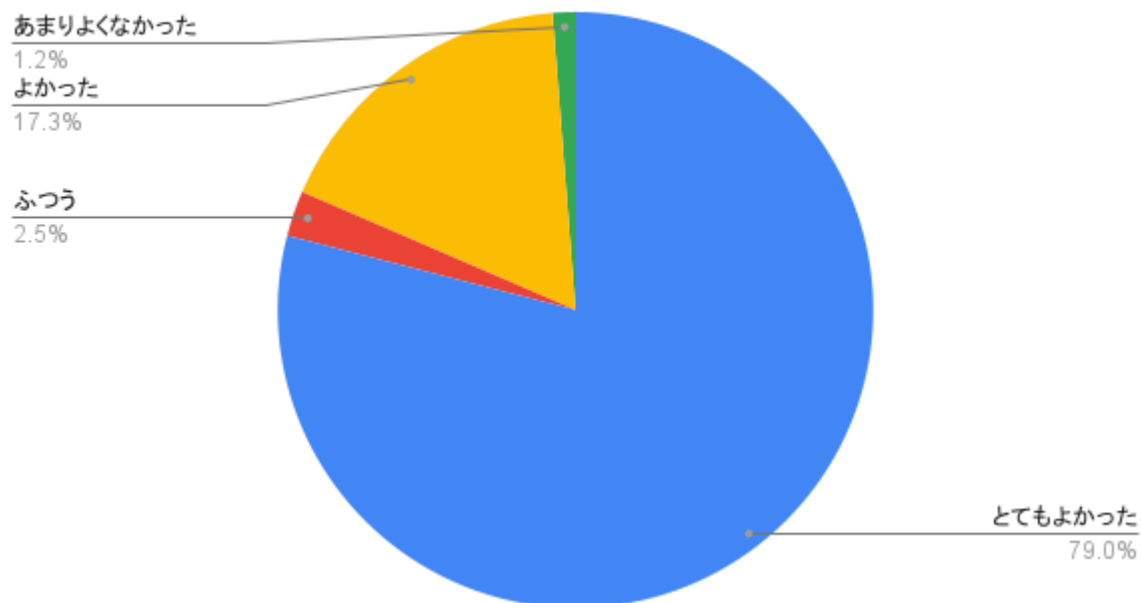
「お立場を教えてください ※複数回答可」のカウント数



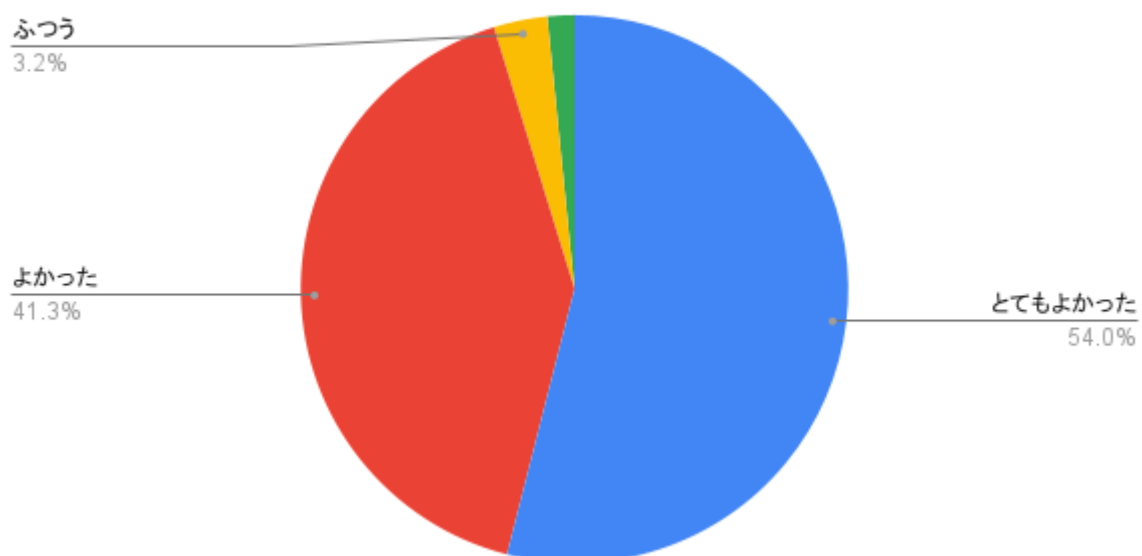
「年代を教えてください」のカウント数



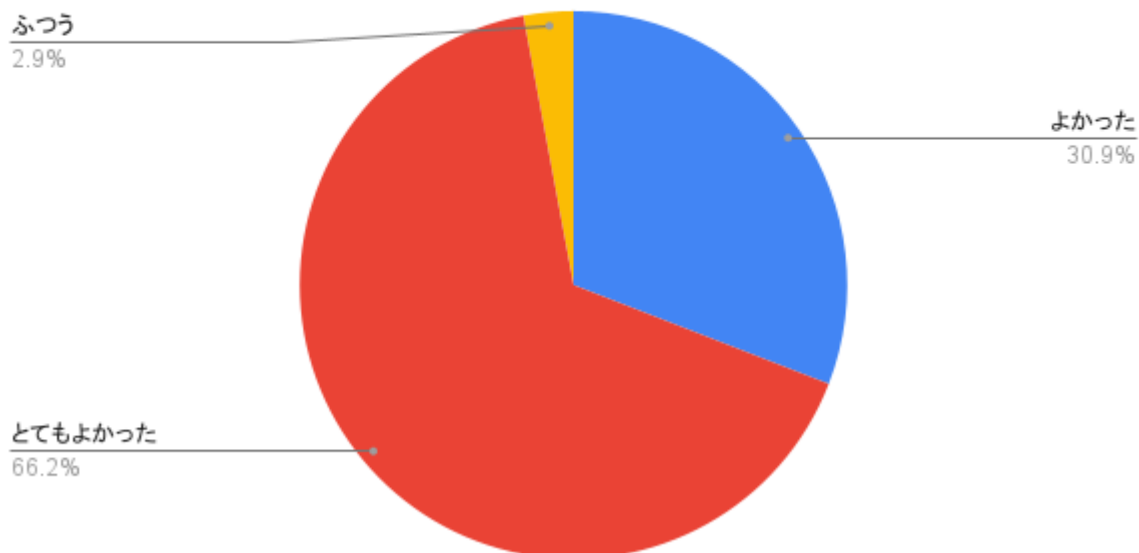
「イベント全体について教えてください」のカウント数



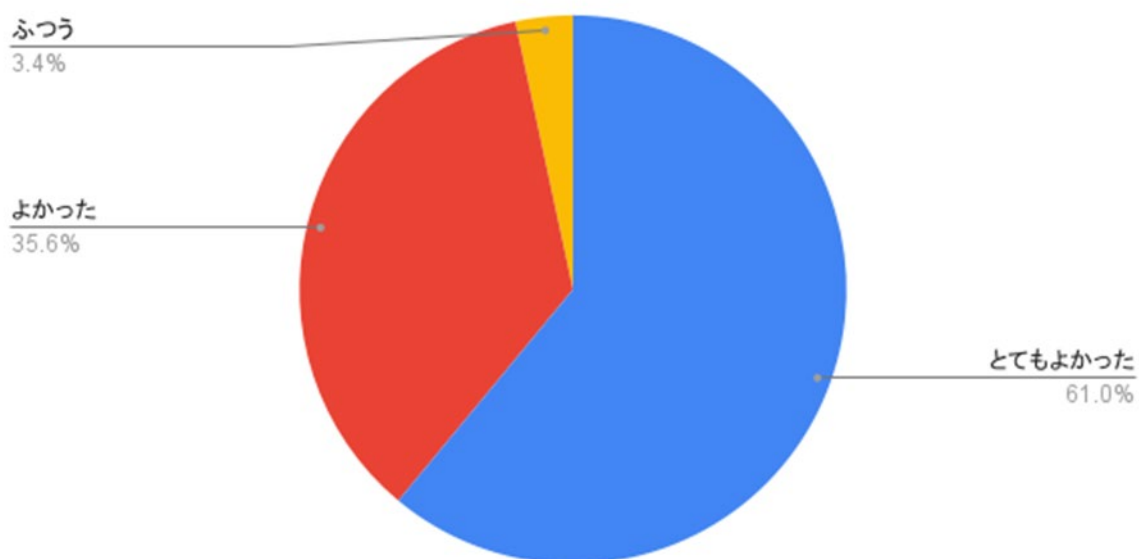
「国際女性デー企画・婦人科がん」はいかがでしたか？」のカウント数



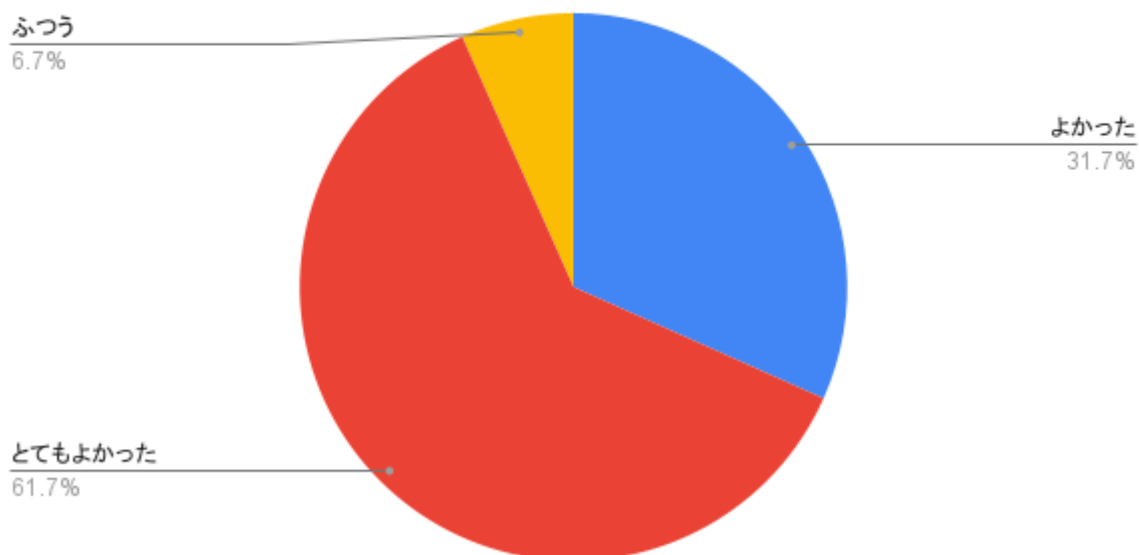
「AYAがん情報を全国に届けるために必要なことを考えよう」はいかがでしたか？」のカウント数



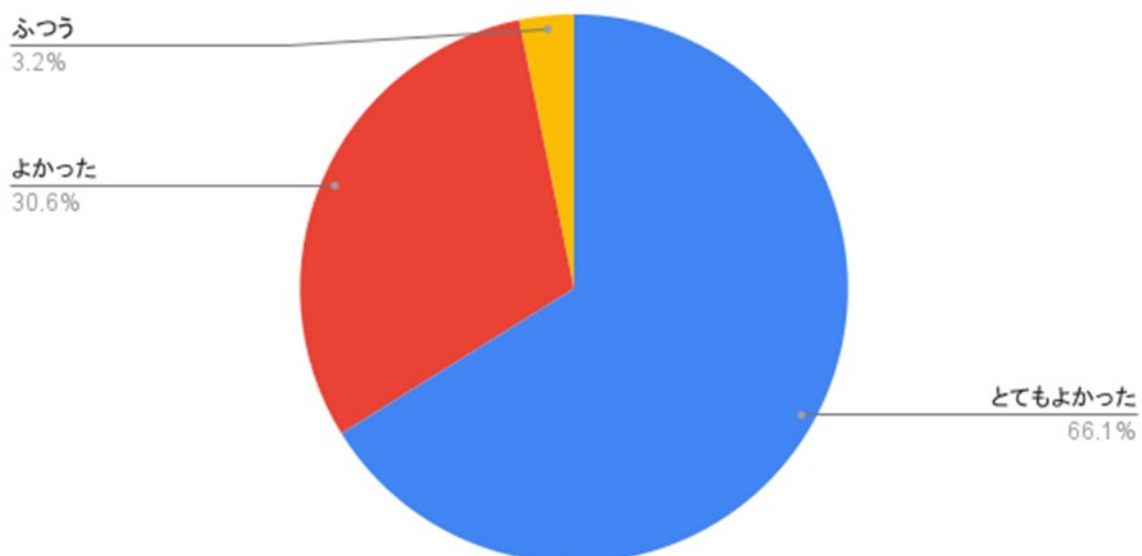
「医薬品を超えて、生活・人生をサポートする取り組みの可能性」はいかがでしたか？」のカウント数



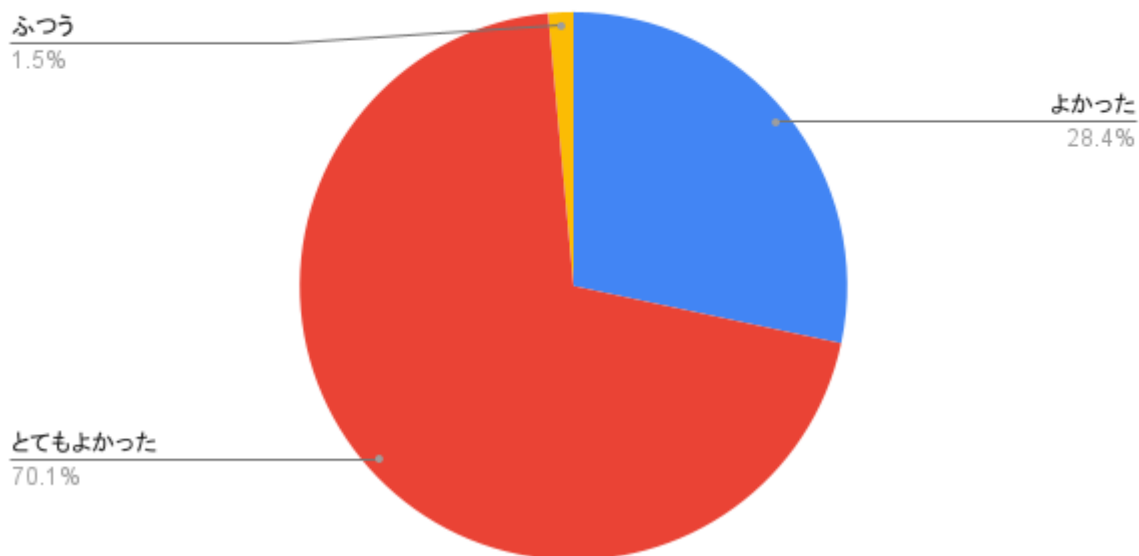
「一緒に知ろう、考えよう『がん教育』」はいかがでしたか？」のカウント数



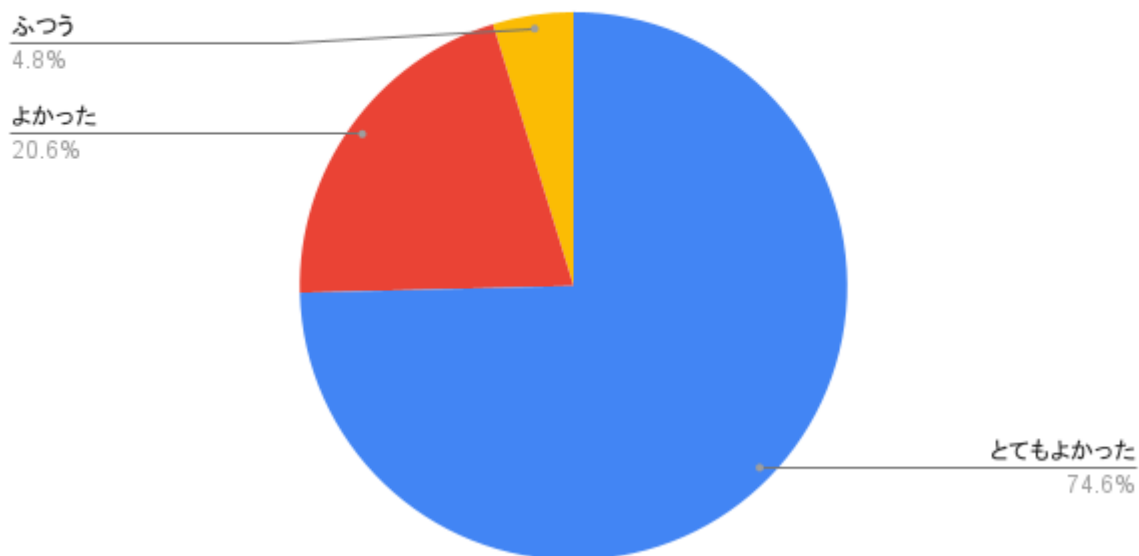
「未来の治療を一緒に考えよう～臨床試験って何？どうやって情報にアクセスするの？～」はいかがでしたか？」のカウント数



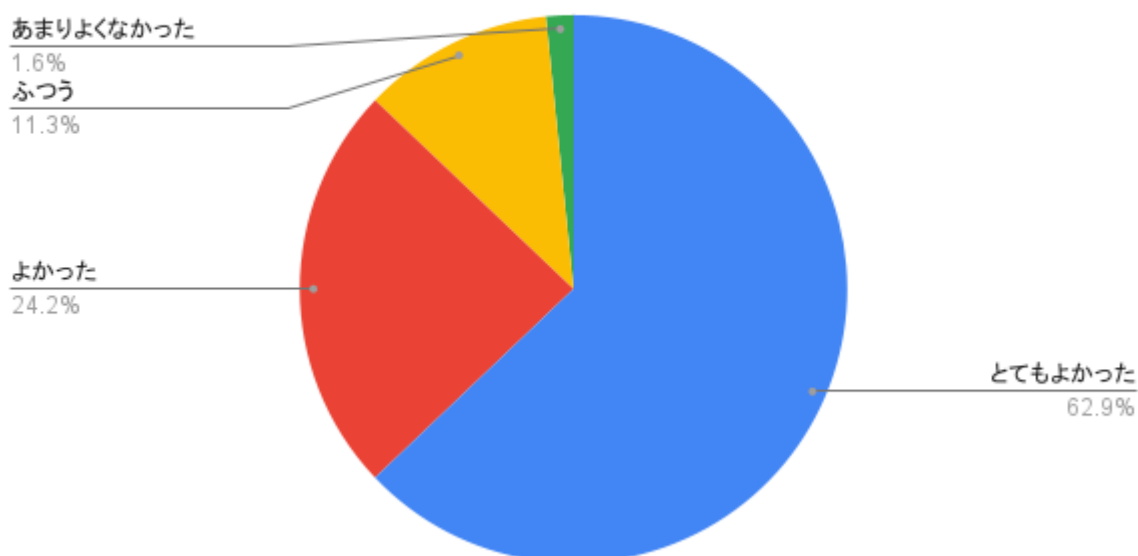
「「がん治療だけではない。生きる日々を支える医療の必要性(晩期障害)」はいかがでしたか？」のカウント数



「「在宅医療～AYA世代の視点から～」はいかがでしたか？」のカウント数



「人生会議は暮らしの中にある～社会のつながりから考える」はいかがでしたか？」のカウント数



【今後に向けて】

『一回だけでの開催で一年後に何かが劇的に変化することは難しい。継続して開催していくことが大事ではないか』との声を、しっかりと受け止めたいと思います。

今回、各セッション内容を、共催企業と共に一から考えて取り組んだことに協働の力を感じています。忠犬ハチ公の生誕 100 年の年であることから、渋谷会場と秋田会場を繋ぎ、オンライン参加も可能としましたが、この形式であれば、秋田のみではなく、地域を広げていける可能性も感じています。

一方、一患者会が主催するには大規模なイベントであったため、継続方法については検討していく必要があります。今回、寄せられた多くの期待、意見を真摯に受け止め、今後の取り組みについて考えてまいります。

第 4 期がん対策推進基本計画の全体目標である『誰一人取り残さない』がん対策が国民すべてに現実のものとして届くために、今後も私どもに何ができるのかを考え、行動してまいりたいと思います。

2023 年 3 月 23 日

認定 NPO 法人 希望の会

轟 浩美



一緒に知ろう、共に考えようAYA世代のがんのこと2023 収支報告

収入		
項目	金額	備考
協賛金	¥4,800,000	セッション共催100万円×4社・協賛50万×1・10万円×3社
自己負担金	¥1,433,503	希望の会拠出
助成金	¥400,000	読売光と愛の事業団
	¥300,000	勇美記念財団
	¥50,000	樋口宗孝がん研究基金
収入計	¥6,983,503	

支出		
項目	金額	備考
会場関係費（渋谷）	¥1,400,000	ヒカリエホールB（基本備品込み）
会場関係費（カンファレンス）	¥122,293	ヒカリエカンファレンス（登壇者休憩・オンライン視聴質として使用）
会場設備使用費	¥741,210	映像機材・ステージ・長机・スタッキングチェア等レンタル
会場設備運営費	¥640,000	技術員立ち合い・オペレーター・設営・撤去
運営協力費	¥550,000	一般社団法人ピーバックに委託
フライヤー作成費	¥300,000	株式会社クリエイティブキャラバン
運営事務局委託費	¥1,500,000	株式会社ZINEに委託
当日掲示物作成費	¥100,000	印刷費
当日運営費	¥100,000	運営スタッフ1名1万円（交通費込み）10名
トーク配信費	¥100,000	がんノート・大交流会（スペース・備品レンタル・スタッフ）
講師・モデレーター謝礼	¥500,000	1名5万円（近県・交通費込み）10名
登壇者謝礼	¥630,000	1名3万円（近県・交通費込み）21名
雑費	¥200,000	振り込み手数料・チラシ郵送費・資材運搬費・文具
予備費	¥100,000	当日緊急対応（機材等追加）
支出合計	¥6,983,503	